

災害対策本部員会議での知事の主な発言

1. 会議冒頭の発言

- 県内では、現在、中能登の5市町に大雪警報が発表され、また、20時36分には、七尾市に「顕著な大雪に関する気象情報」が発表されたことから、災害対策本部を自動設置した。

一昨年12月の大雪の際には、能登地方を中心に道路沿いで倒木が発生し、道路をふさぎ、孤立世帯も出た。今回も最大限の警戒が必要である。また、令和6年能登半島地震や奥能登豪雨で損傷を受けた家屋では積雪の重みによる倒壊も注意が必要である。

この後、气象台から今後の雪の見通しを説明したあとで、各部局から防災態勢や道路及び交通の状況等の報告をいただきたい。

2. 会議最後の発言

- 今、関係の皆さんから、報告があったとおり、今後も早め早めに準備を行い、被害が発生しないよう、十分警戒を怠らないよう、お願いしたい。
- 各部局長級には、過去の経験を活かし、被害を発生させないということに全力を挙げていただきたい。私の方から3点、申し上げたい。
- 1点目は、除雪体制である。

関係機関の皆さまにおかれては、気象情報なども注視

するとともに、しっかりと連携し、富山県との県境部も含めて、幹線道路はもとより、生活道路や山間部の道路についても、除雪体制に万全を期していただきたい。

- 2点目は、電気、水道、通信などのインフラの確保に対する備えである。

一昨年12月の大雪では、能登地方の広い範囲で停電が発生し、これに伴い、一部地域では携帯電話の通信障害も発生している。

山間部では、今後の降雪の状況によっては、倒木による停電や交通の障害、通信の途絶が発生するおそれがあり、万一の際には、除雪の事業者などとも連携して、速やかな対応をお願いしたい。

- 3点目は、県民の皆様への注意喚起についてである。

県内では、明日の朝にかけて大雪が見込まれているため、除雪作業に注意いただくとともに、県民の皆さまには、次のことをお願いしたい。

- ・ 気象台の発表やニュースなどの最新の気象情報を確認すること
- ・ 不要不急の外出を控えるほか、
- ・ 除雪作業は、家族、とより近所にも声掛けいただき、2人以上で行うこと。

- ・ 除雪作業前には、側溝や水路などの危険箇所を確認し、屋根からの落雪にも注意すること
- ・ 水道管の凍結・破裂にも注意いただきたい。

今回の大雪により、被害が発生しないよう、万全の備えを行っていただきたい。